

笑みの和

多古高生がつくる1日限定地産地消カフェ

2月21日(土) 多古高生が運営する地産地消カフェ「笑みの和」が、1日限定で飯笹地区の和空間わたことり内にオープンしました。多古町の魅力的な地場産品を伝えたいとの思いで企画し、調理や受付、会計などの運営を全て生徒たちの手で行い、お客さんに「おもてなし」を提供しました。

接客を通してお客さんや生徒たち間でコミュニケーションが生まれ、和やかな雰囲気のカフェとなり、「笑みの和」を広げることができた1日となりました。



活動の様子は
こちらから



▲生徒たちが力を合わせて、カフェを運営しました

協力して一つのものを作り出す

みんなの魚がおおきなクジラに

2月7日(土) 「多古町ライフワークの輪」創出事業による「ちいさなサカナおおきなクジラ」が地域おこし協力隊の笠川さん主導の下、久賀小学校体育館で開催されました。このイベントでは、いろいろな世代の方たちが描いた魚を並べて大きなクジラを作りました。

たくさんの絵から自分の描いたものを見つけて喜んでいる子どもたちの笑顔も見られ、参加者みんなが楽しめるイベントとなりました。



◀魚の絵を一枚一枚丁寧に置いていきました



▲おおきなクジラを作り上げた皆さん

まちのスコール in 多古町

みんなの笑顔が生まれる場所 2月1日(日)

町内で子ども向けの居場所づくりやワークショップを行っている「ちいさいタネ」が主催する「多古町が遊び場になる1日!~まちのスコールin多古町~」が開催されました。地域おこし協力隊やたくさんの方の協力の下、多古町魅力発信交流館「たこらぼ」を会場に行われました。

広場では飲食やさまざまな遊び道具を体験できるブース、室内では多古町の地図を使った遊びや缶バッジ作りのワークショップなど、創造力が広がる企画が盛りだくさんでした。たくさんの方と遊びを通して交流することで、地域の絆をさらに深めることができました。



▲子どもから大人まで楽しめる、世界のボードゲームに挑戦



▲いろいろな遊びを楽しむ子どもたち

妙光寺節分会

福が訪れますように

2月3日(火) 居射地区の妙光寺で節分会が行われ、大勢の人が訪れました。福が訪れるよう願いが込められた豆やお菓子などをつかみ取ろうと、子どもも大人も必死になって手を伸ばしました。町のマスコットキャラクター「ふっくらたまご」も豆まきに参加し、会場の皆さんに福を届けました。

会場はたくさんの笑顔で満たされ、訪れたすべての人に福が訪れたことでしょう。



▲福をつかもうと、大勢の人が訪れました

平家物語

—語りと二つの弦と絃で聴く—

2月1日(日) 島地区の正覚寺で、平家物語の語り芝居が行われました。静寂なお寺の本堂の中で、語り役の金子あいさんによるセリフや演技を交えながらの「語り」と、コントラバス奏者の須川崇志さんと琵琶奏者の岩佐鶴文さんの二つの「弦」と「絃」が奏でる音色が合わさって幻想的な平家物語の世界が広がり、観客の皆さんを魅了しました。



▲平家物語の世界に引き込まれる観客の皆さん

AIと脳科学

茂木健一郎さんが講演 2月21日(土)

令和7年度多古町生涯学習文化講演会「AIと脳科学」がコミュニティプラザ文化ホールで開催され、研究・教育・メディアなど幅広い分野で活躍する脳科学者の茂木健一郎さんが講演を行いました。

難しい言葉を使わず、自身の経験やエピソードなども交えながら、ユーモアあふれる軽快なトークで会場を沸かせました。講演後、会場からはたくさんの質問が飛び、来場者の皆さんの関心の高さが伺えました。

茂木さんの明るく楽しいトークで、会場は終始笑顔があふれていました。



▲会場を沸かせる茂木健一郎さん

